



最初にやっていただくこと

1 単三アルカリ乾電池を入れます

はじめに、本体裏側のカバーを開けて単三アルカリ乾電池×4本を入れます。①



2 電源を差し込みます

付属の専用ACアダプタを本体右横のDC入力6V端子②に差し込みます。防災ラジオは、緊急信号を待ち受けるため電池の消耗が非常に早くなります。緊急時や屋外に持ち出す場合以外は、必ずコンセントに接続して使用して下さい。



3 本体の電源を入れます

本体の上にある「電源」ボタン③を押すと電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。



4 受信ができることを確認します

本体のアンテナを全部伸ばし、「自局」ボタン④を押して「FMくらら857」(85.7MHz)が受信できることを確認して下さい。

5 緊急信号を受信した場合

緊急信号を受信すると、ラジオは自動的に電源が入り最大音量で緊急放送をお伝えします。

■緊急割込放送される内容

・避難指示等	・武力攻撃等の国民保護に関する情報
・気象特別警報	・土砂災害警戒情報
・緊急地震速報	・その他市民への周知が必要な緊急情報

▼ 緊急放送を終了したい場合

本体の上にある、「確認/照明」ボタン⑤を押すと放送が止まります。



6 定期的に試験放送を行います

■毎月11日午前11時00分から緊急割込放送の試験放送を行っております。

防災ラジオ ご使用上の注意

緊急時以外は、乾電池だけでの使用はしないでください！

防災ラジオは、電源を切っていても緊急放送を瞬時に受信して、市からの緊急性の高い情報を聞くことができるよう、常に「待受け状態」となっており電気を消費しています。

防災ラジオの乾電池は、災害時に停電などで家庭用電源が利用できなくなった場合でも、災害情報を市民のみなさんに迅速・正確に伝えるための「非常用電源」だということをご理解ください。

※日常生活で、ラジオを聴くためのものではありません。

このため、普段のご利用にあたっては必ずACアダプターを使って、コンセントからの電源で利用して下さい。

アルカリ乾電池(単三×4本)だけでは、

- ・ラジオを聞いていない待機状態で、約4日間
 - ・通常音量で聞いた場合で、約1日半(40時間)
- で「電池切れ」の状態になりますので、注意してください。

防災ラジオを正しく使うために守っていただきたいこと

- ・年に1回、すべての乾電池を新品のものに取り換える。
- ・乾電池は、アルカリ単三乾電池を使用する。
- ・使用期限の切れた乾電池は使わない。

もし故障した場合は、どのようにしたら良いですか？

故障機を、栃木市役所5階の危機管理課までお持ちください。

故障の原因が使用者にない場合は、配布日から1年間は、無償交換の対象となります。また、無償交換の対象期間を過ぎても故障機を市に返却することで、再度、有償配布(7,500円、75歳以上の者のみで構成される世帯は2,500円)の対象となります。

ただし、落下による破損、使用者の取り扱いが原因の場合などは、使用者において修理費用を負担していただくこととなります。



防災ラジオに関するお問い合わせ先

栃木市 総合政策部 危機管理課

☎ 0282-21-2551